



2026年10月期 第1四半期

決算補足資料

正栄食品工業株式会社
(証券コード 8079 東証プライム市場)

I. 2026年10月期 第1四半期業績報告

II. 2026年10月期 業績予想

業績ハイライト (11-1月)



- ◆ 売上高につきましては、中国セグメントでは減収となりましたが、日本や米国では販売価格の上昇等もあり増収となったことから、前年同期比で+5.7%の増収となりました。
- ◆ 利益につきましては、販売価格の上昇等により売上総利益が増加し、また販売費及び一般管理費が減少となったことから、営業利益は同+41.2%の増益、経常利益は同+37.8%の増益となりました。特別損失が減少したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益については同+129.4%の増益となりました。

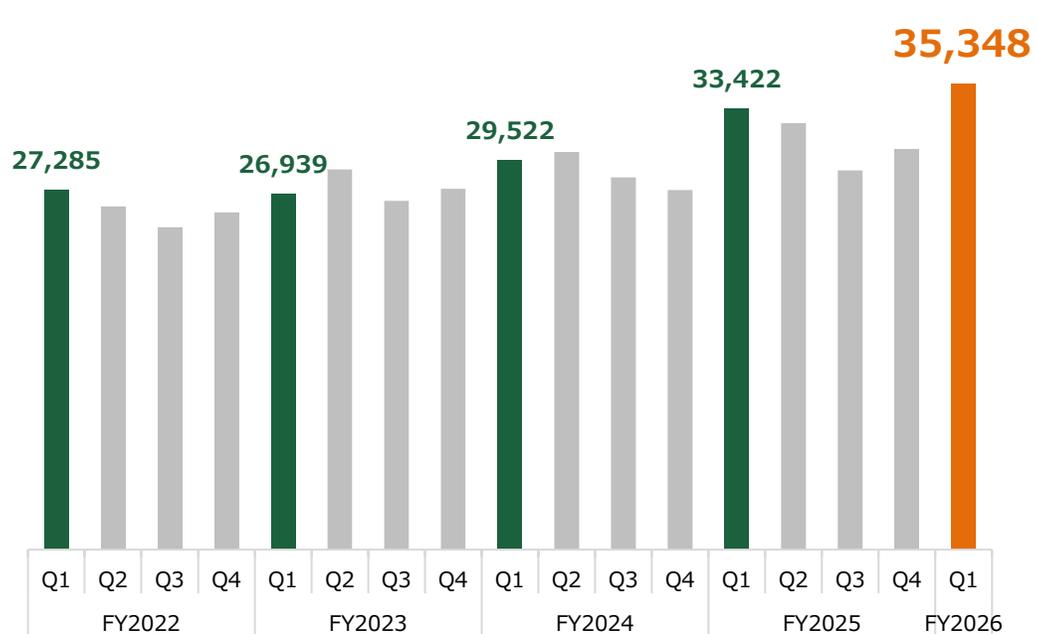
単位：百万円

	FY25/Q1	FY26/Q1	増減金額	増減率
売上高	33,422	35,348	+1,926	+5.7%
売上総利益	4,868	5,300	+432	+8.8%
営業利益	1,149	1,623	+474	+41.2%
経常利益	1,242	1,712	+470	+37.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	477	1,095	+618	+129.4%
売上高営業利益率	3.4%	4.5%	-	-

為替レート	: 米ドル	158.18円	156.56円
	: 中国元	21.67円	22.36円
	: 香港ドル	20.38円	20.13円

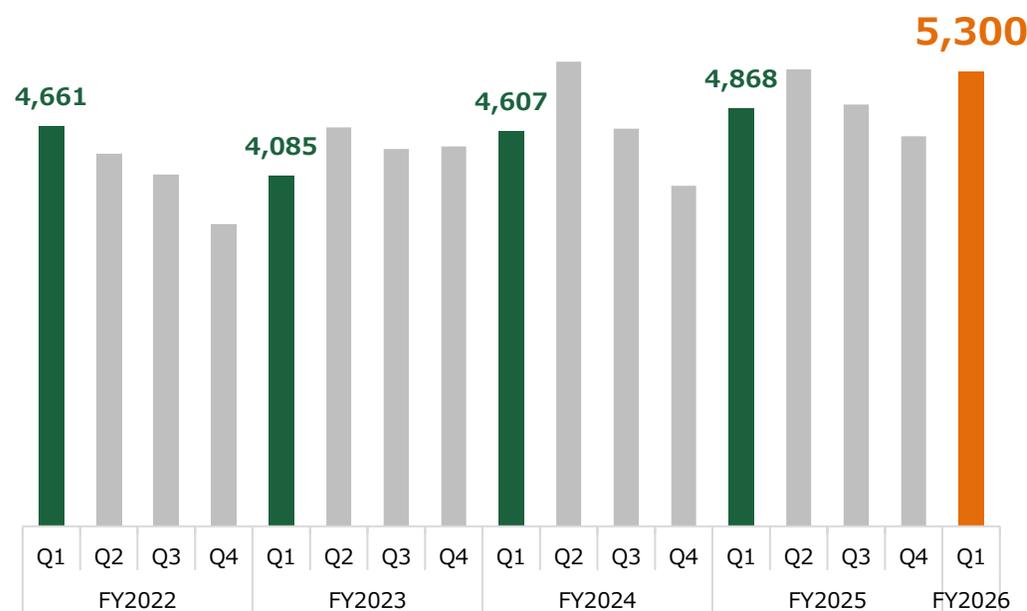
売上高推移(四半期別)

単位：百万円



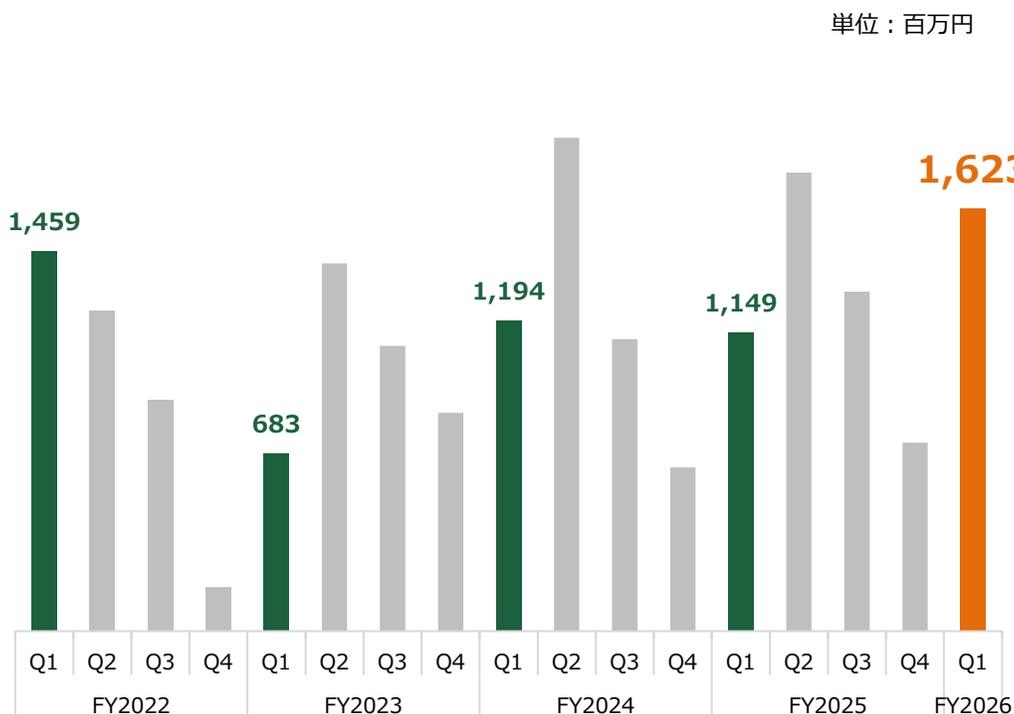
売上総利益推移(四半期別)

単位：百万円

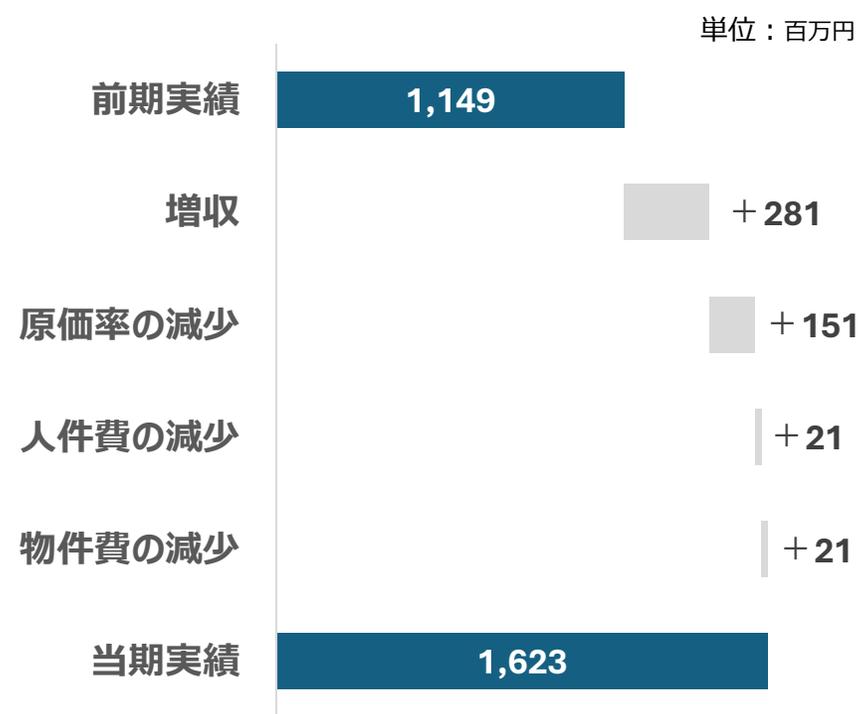


営業利益は、増収効果に加え、原価率低減もあり売上総利益が増加し、また販売費及び一般管理費が減少したことから増益。

営業利益推移(四半期別)



営業利益増減要因 (11-1月)



セグメント別事業内容

ShoEi

日本

製菓・製パン業界を中心とした食品業界向けの食品原材料（乳製品、油脂、製菓材料、乾果実、缶詰、外食用食材等）の仕入れ、加工・製造、販売を主要業務としているほか、菓子類や乾果実類（ナッツ、ドライフルーツ）のリテール商品を製造して販売。国内に7工場を所有。

米国

ShoEi Foods (U.S.A.), Inc.

- ① クルミを農家から仕入れ、殻付きまたは剥き身に加工して主に輸出
- ② プルーンの仕入と販売
- ③ 乾果実類を米国内で仕入れ、日本（当社）へ輸出
- ④ プルーン・クルミ・アーモンド農園経営
- ⑤ 乾果実類を輸入し米国内で販売

中国

青島秀愛食品有限公司

延吉秀愛食品有限公司

- ① 製菓原材料類、乾果実類の加工・製造
- ② 加工品、製造品の日本や欧州等への輸出
- ③ 上海秀愛国際貿易有限公司や香港正栄国際貿易有限公司経由で中国・香港内での販売

上海秀愛国際貿易有限公司

香港正栄国際貿易有限公司

- ① 主に乾果実類を輸入し、中国・香港で販売
- ② 青島秀愛食品有限公司、延吉秀愛食品有限公司で加工・製造した製品を中国・香港内で販売



セグメント別業績

ShoEi

単位：百万円

	売上高				セグメント利益			
	FY25/Q1	FY26/Q1	増減額	増減率	FY25/Q1	FY26/Q1	増減額	増減率
日本	28,035	29,669	+1,634	+5.8%	1,274	1,485	+211	+16.5%
米国	3,499	3,955	+455	+13.0%	▲ 117	156	+274	—
中国	3,294	3,244	▲ 49	▲ 1.5%	66	158	+92	+139.1%
調整額	▲ 1,405	▲ 1,520	▲ 114	—	▲ 73	▲ 177	▲ 104	—
合計	33,422	35,348	+1,926	+5.7%	1,149	1,623	+473	+41.2%

日本

- ◆ 売上高は、原料価格上昇に対応した販売価格の上昇等により、乳製品、油脂類、製菓原材料、ナッツ、菓子・リテール商品等の売上が増加したことから、前年同期比5.8%増の296億69百万円となりました。
- ◆ セグメント利益は、販売価格の上昇等により売上総利益が増加したことから、同16.5%増の14億85百万円となりました。

米国

- ◆ 売上高は、主力のクルミについて豊作により受入量・販売量が増加し、販売価格も前年同期比上昇したことから、前年同期比13.0%増の39億55百万円となりました。
- ◆ セグメント利益は、クルミ事業について販売量の増加により増益となったほか、農園事業についてクルミ収穫量の増加等から採算が改善したことから、1億56百万円（前年同期は1億17百万円の損失）となりました。

中国

- ◆ 売上高は、輸出が増加し、中国内での販売についてもアーモンドなどの国内生産品は好調に推移しましたが、輸入品の国内販売については競争が激しく減収となりました。この結果、前年同期比1.5%減の32億44百万円となりました。
- ◆ セグメント利益は、前年実施した物流や拠点間の役割分担の見直しなど採算改善に向けた取り組みにより販売費及び一般管理費が減少した結果、同139.1%増の1億58百万円となりました。

品目別の主要商品

大分類	中分類	主な商品
乳製品・油脂類	乳製品	バター、粉乳、練乳、液状乳製品、チーズ、乳糖、ホエイ
	油脂類	製菓・冷菓・製パン用油脂（マーガリン類、ショートニング等）
製菓原材料類	製菓材料	チョコレート加工品、製菓用焼き菓子、フルーツ洋酒漬（ラムレーズン他）、ピール加工品、フルーツファイリング
	栗製品	マロンペースト、栗甘露煮、マロングラッセ
	和菓子材料	さつまいも、杏仁霜、柏葉、桜漬葉
	製パン材料	上新粉、餅粉
	仕入商品	膨張剤・ゼリー、チョコ・ココア、蜂蜜・糖類、洋酒（リキュール類他）、抹茶、胡麻
乾果実・缶詰類	ナッツ&シード類	アーモンド、クルミ、マカデミアナッツ、ココナッツ、ピスタチオ、カシューナッツ、ヘーゼルナッツ、松の実、パンプキンシード
	ドライフルーツ	レーズン、プルーン、クランベリー、ブルーベリー、パイン
	フルーツ加工品	リンゴ加工品、マンゴー加工品、黄桃缶詰、パイン缶詰
	業務用食材	パスタ、スイートコーン、トマト加工品、オリーブオイル、デザート食材、冷凍フルーツピューレ
菓子・リテール商品類	菓子	チョコレート菓子、ビスケット
	リテール商品	ナッツ小袋、プルーン小袋、その他ドライフルーツ小袋、野菜加工品

品目別売上構成 (11-1月)



単位：百万円

	FY25/Q1		FY26/Q1		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
乳製品・油脂類	10,160	30.4%	10,483	29.7%	+322	+3.1%
製菓原材料類	5,533	16.6%	5,818	16.4%	+285	+5.1%
乾果実・缶詰類	12,197	36.5%	13,314	37.7%	+1,116	+9.1%
菓子・リテール類	5,523	16.5%	5,728	16.2%	+204	+3.7%
その他	7	0.0%	4	0.0%	▲3	▲45.9%
合計	33,422	100.0%	35,348	100.0%	+1,926	+5.7%

乳製品・油脂類

乳製品価格上昇もあり、輸入バターなどの業務用乳製品や油脂類の売上が増加しました。また、国内生産子会社での余乳加工処理収入が増加したこともあり、乳製品・油脂類売上高は前年同期比3.1%増となりました。

製菓原材料類

マロンペーストなどの菓製品の売上は減少となりましたが、チョコレート加工品、製菓用焼き菓子、フルーツ洋酒漬など自社加工製品やチョコレートなどの国内仕入品の売上が増加となりました。この結果、製菓原材料類売上高は前年同期比5.1%増となりました。

乾果実・缶詰類

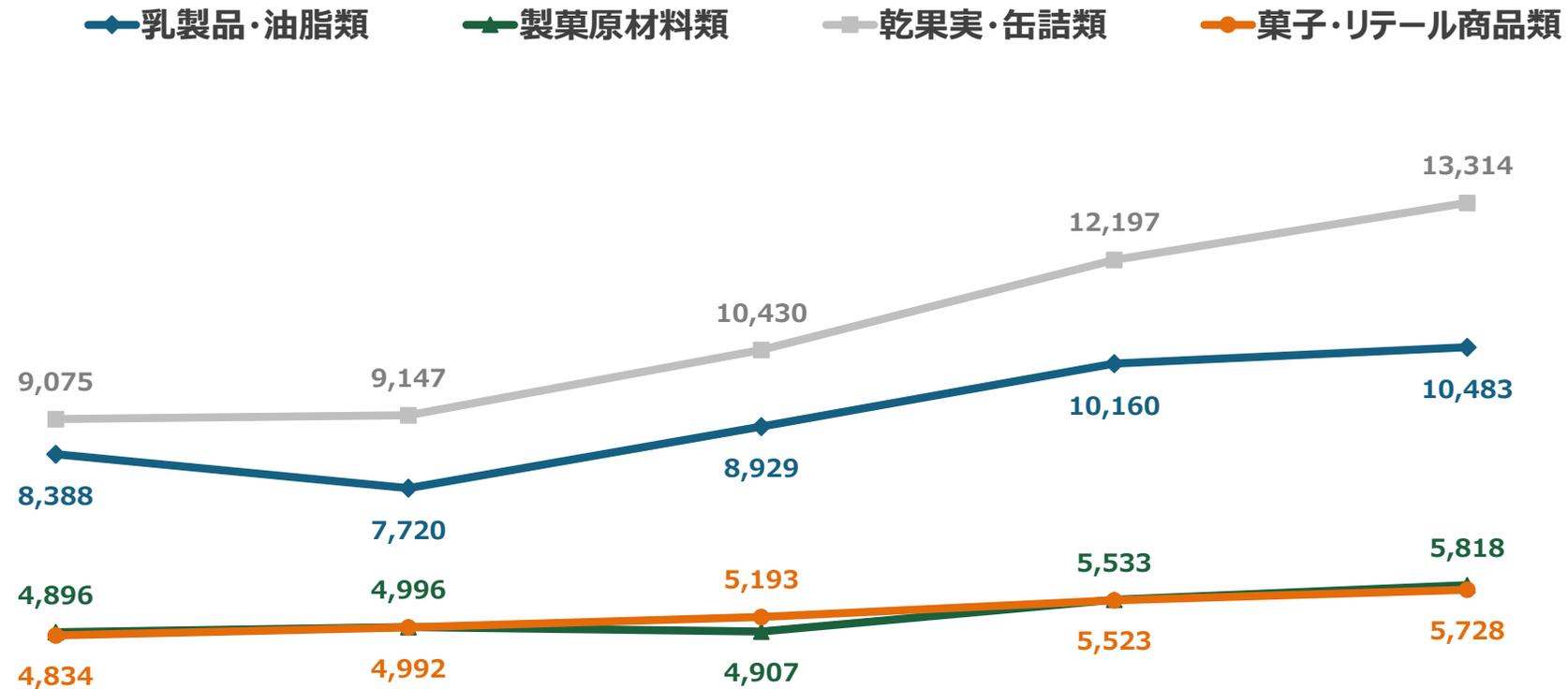
単価の上昇を反映し、アーモンド、クルミ、ココナッツ、レーズン等の日本での売上が増加しました。また、米国では単価の上昇に加え、主力のクルミが豊作のため販売量が増加しました。この結果、乾果実・缶詰類売上高は前年同期比9.1%増となりました。

菓子・リテール商品類

カカオ原料価格の上昇による販売価格の上昇もあり、PB商品を中心にチョコレート菓子が増収となり、ナッツ小袋などのリテール商品も売上増となりました。これらの結果、菓子・リテール商品類売上高は前年同期比3.7%増となりました。

品目別売上推移 (11-1月)

単位：百万円



連結財政状況

- ◆ 価格上昇もあり棚卸資産が増加し流動資産は増加。固定資産も増加し、資産合計は増加となりました。
- ◆ 流動負債、固定負債共に増加し、負債合計は増加となりました。
- ◆ 利益の内部留保に加え、円安による為替換算調整勘定の増加により純資産は増加しました。

単位：百万円

		FY25	FY26/Q1	増減額	
資産	流動資産	現金及び預金	11,505	9,381	▲2,123
		受取手形及び売掛金	23,753	27,445	+3,691
		棚卸資産	28,652	35,805	+7,152
		その他流動資産	1,852	1,310	▲541
		小計	65,764	73,944	+8,179
	固定資産	有形固定資産	22,792	22,947	+154
		無形固定資産	491	490	+0
		投資その他の資産	7,538	8,293	+755
		小計	30,822	31,732	+909
	資産合計		96,586	105,676	+9,089
負債	流動負債	33,770	39,376	+5,605	
	固定負債	6,884	8,558	+1,674	
	負債合計	40,655	47,935	+7,279	
純資産	株主資本	48,268	48,867	+598	
	その他の包括利益累計額	6,559	7,743	+1,184	
	非支配持分	1,103	1,129	+26	
	純資産合計	55,931	57,740	+1,809	
負債・純資産合計		96,586	105,676	+9,089	
有利子負債		22,319	23,262	+942	



I. 2026年10月期 第1四半期業績報告

II. 2026年10月期 業績予想

2026年10月期 業績予想



◆ 2025年12月発表の業績予想から変更はありません。

単位：百万円

	FY25/Q2	FY26/Q2	増減金額	増減率	FY25	FY26	増減金額	増減率
	実績	予想			実績	予想		
売上高	65,764	68,000	+2,236	+3.3%	124,897	130,000	+5,103	+4.0%
営業利益	2,913	3,000	+87	+2.9%	4,942	5,100	+158	+3.1%
経常利益	2,941	3,030	+89	+2.9%	4,992	5,150	+158	+3.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,731	1,900	+169	+9.7%	3,035	3,400	+365	+11.9%
1株当たり当期純利益	102円79銭	113円47銭	—	—	181円31銭	203円06銭	—	—

為替レート	: 米ドル	149.52円	155.00円	148.88円	155.00円
	: 中国元	20.59円	22.00円	20.88円	22.00円
	: 香港ドル	19.22円	20.00円	19.13円	20.00円

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。